

VISUAL STUDIO SUBSCRIPTIONS 管理者ハンドブック

目次

3

編集者のメモ

4

Visual Studio サブスクリプションを割り当てる理由

6

Visual Studio サブスクリプションの割り当て

- クイック スタート
- スーパー管理者ができること

8-21

Visual Studio サブスクリプションの内容

- ツール
- Azure
- ソフトウェアとダウンロード
- サービス
- トレーニング
- サポート

22

管理者のベスト プラクティス

24

便利なリンク

- 管理者向け
- サブスクライバー向け
- サブスクリプションについて



編集者のメモ

このガイドは、Visual Studio サブスクリプションの内容と、サブスクリプションを効果的に割り当てるのが皆さんが担っている役割にとって重要である理由を明確に説明すると同時に、管理者がサブスクリプションの管理を迅速に開始できるように設計されています。さらに、Visual Studio サブスクリプションの価値を高めるのに役立つリソースとサポート ツールの包括的な一覧も 1 か所にまとめられています。

Visual Studio サブスクリプションを割り当てる理由

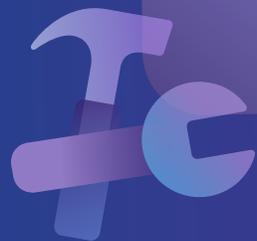
- **生産性アップ** – Visual Studio サブスクリプションに備わっているさまざまな特典とサービスから得られる包括的なリソース セットにより、開発者の業務をスマート化してスピードアップし、効率的にデプロイすることができます。
- **開発者の成長を促す** – 開発者はサブスクリプションに備わっている技術トレーニングや専門的なトレーニングを受け、Azure Dev/Test の個別クレジットにより Azure を使用してさまざまなことを試すことができます。
- **組織の投資から利益を得る** – Visual Studio サブスクリプションを割り当てることで、投資から最大限の価値を引き出します。

Visual Studio を使用すると、開発者はすばやくコードを記述して、共同作業を行い、アプリケーションを分析、テスト、デプロイすることができますが、Visual Studio サブスクリプションには、Visual Studio ライセンスに含まれていないさらに多くの機能が含まれています。このガイドでは、追加の特典について説明します。

自分の役割が重要である理由

Visual Studio はスタンドアロン ライセンスとして使用できますが、サブスクリプションを割り当てないと、利用できるすべての特典にアクセスできなくなります。サブスクリプションを割り当てることで、利用できるサービスと特典が増えます。これにより、開発者の成長を加速し、生産性を高め、新興のトレンドやテクノロジーを常に把握しておくことができます。

Visual Studio サ
ブスクリプション
には、IDE をはる
かに超える開発者
をサポートする機
能やサービスが備
わっています。



Visual Studio サブスクリプションの割り当て

クイック スタート - 使用を開始するための準備

このセクションでは、サインインから Visual Studio サブスクリプションの管理を迅速に開始するまでを、4 つの簡単なステップで説明します。追加のリソースは、「便利なリンク」セクションで確認できます。Visual Studio Subscriptions 管理ページ (<https://aka.ms/VSSAdmin>) に移動し、[管理者ポータルへのサインイン] を選択してサインインします。

- 1** 今後の使用に備えて、ポータルに直接アクセスできるように、<https://manage.visualstudio.com> をブックマークしておいてください。
- 2** サインインできない場合は、契約を担当するスーパー管理者にユーザーを追加してもらうことができます。ユーザーの追加に関する情報については、上記の Visual Studio Subscriptions 管理ページの「よく寄せられる質問」セクションをご覧ください。
- 3** ポータルにアクセスすると、組織の契約でアクティブになっている Visual Studio サブスクリプションと割り当て済みの Visual Studio サブスクリプションを確認できます。ポータルの機能はユーザーの役割によって異なりますが、すべての役割で次のことを行うことができます。
 - 個々のユーザーを追加、編集、削除する。
 - シンプルな Excel テンプレートを使用して複数のサブスクリプションを追加または編集する。
 - Microsoft Entra グループを使用して Visual Studio サブスクリプションを割り当てる (マイクロソフト エンタープライズ契約を結んでいる組織で利用可能)。
詳細: <https://aka.ms/VSSadmin/assignmulti>
 - Visual Studio サブスクリプションの割り当てに関するレポートを確認し、割り当ての最大レベルを追跡する。

4

ポータルガイドについては、Visual Studio Subscriptions 管理ページで、管理者ポータルの使い方について説明するビデオをご覧ください (<https://aka.ms/VSSAdmin>)。

また、管理ドキュメントですべての機能を確認することもできます: <https://aka.ms/AssignVSS>

スーパー管理者は、Visual Studio サブスクリプションを割り当てることに加えて、Visual Studio Subscriptions 管理ポータルで起こることに対してより多くの責任を負い、より多くのことを管理することができます。スーパー管理者は、次のことを行うことができます。

- 他のスーパー管理者または管理者を割り当てる。
- サブスクリプション レベル、社外の従業員のアクセス、ダウンロード アクセスなどの Visual Studio サブスクリプションの割り当てに関する情報が自動で入力されるように、契約レベルの基本設定を行う。これを行う方法の詳細については、<https://aka.ms/VSSAdminPrefs> で確認してください。

スーパー管理者としてオンボーディングを行う方法については、上記の Visual Studio Subscriptions 管理ページの新しい管理者向けのビデオをご覧ください。これは、管理ドキュメントでも確認することができます: <https://aka.ms/VSSAdminOnboarding>

サブスクリプションの内容

Visual Studio という名前を聞くと、通常は統合開発環境 (IDE) が思い浮かびます。しかし、Visual Studio サブスクリプションには、IDE をはるかに超える開発者をサポートする機能やサービスが備わっています。

Tools – 開発者に革新をもたらす強力なソフトウェア

Azure – クラウドについて学び、その可能性をいろいろと試すチャンス

ソフトウェア ダウンロード – 開発やテストに活用できる何千ものソフトウェア ダウンロードにアクセス

サービス – 開発者に特有のシナリオに対応するアプリやサービスにアクセス

トレーニング – 開発者が技術スキルや専門スキルをレベルアップさせるのに役立つリソース

サポート – 開発を進める中で直面するあらゆる技術的な問題の解決をサポート

次のページから、各特典についてさらに掘り下げて説明します。各サブスクリプションに含まれる特典は異なる場合があります。サブスクライバーは my.visualstudio.com サイトをチェックして、ご自身のサブスクリプション レベルでアクセスできる特典を確認できます。このハンドブックでは、すべてのサブスクリプション レベルにおける全特典について説明します。

サブスクリプション キー

サブスクライバーの特典は、購入したサブスクリプションの種類とレベルによって異なる場合があります。以下の各特典に適用されるサブスクリプションを確認するには、キーを使用してください。



Visual Studio Enterprise と GitHub Enterprise



Visual Studio Professional と GitHub Enterprise



Visual Studio Enterprise



Visual Studio Professional



Visual Studio Test Professional



MSDN Platforms

ツール



Visual Studio



開発者は Visual Studio サブスクリプションを使用することで、以前のすべてのバージョンに加えて、常に最新バージョンの Visual Studio にアクセスできます。

Visual Studio には、開発者がアプリケーションの構築に使用できるツールが含まれています。Visual Studio は、要求の厳しい品質とスケールのニーズに対応した、あらゆる規模のチーム向けの統合されたエンドツーエンドのソリューションです。コードを記述するだけでなく、Visual Studio を使用して分析、デバッグ、テスト、共同作業、アプリケーションのデプロイを行うことができます。

IntelliTrace、スナップショット デバッガー、コード マップを使用して生産性を高め、品質、精度、速度の点で優れたコードを提供できます。これにより、最初の行からコードの質を高めることで、コードを記述することにより多くの時間を費やすことができます。

IntelliTrace、スナップショット デバッガー、コード マップを使用すると、開発者はアプリケーションのデバッグに費やす時間を短縮できます。これらの高度なデバッグおよび診断ツールを使用すると、デスクトップ、Web、クラウド、モバイル アプリのいずれのアプリで作業している場合でも、コード実行履歴を記録および追跡し、コード構造を視覚化して、より迅速にリファクタリングすることができます。

Visual Studio はクラウドに接続されているため、組み込みの機能やダウンロード機能を使用して、開発者が効率的に最新情報を入手できるようにします。また、Visual Studio Live Share を活用することで、開発環境を離れることなく、シームレスに共同作業を行うこともできます。Live Share により、開発者は自分が使い慣れたツールを使用して、他の開発者と協力してリアルタイムにコードの編集やデバッグを行うことができます。共有サーバー、ターミナル、差分、コメントにより、ペア プログラミングやコード レビューがより簡単に行えるようになっています。



GitHub Enterprise



開発者は GitHub Enterprise を使用して、オープンソースのコード、コミュニティ、ベスト プラクティスをエンタープライズ プロジェクトに安全に取り込むことができます。柔軟性の高いセキュリティ、コンプライアンス、デプロイの各コントロールにより、チームは必要なときに必要な場所で簡単に GitHub Enterprise を使うことができます。

開発者は、Visual Studio に組み込まれた GitHub 拡張機能を使用して、より迅速かつ簡単に作業を開始することができます。また、GitHub は Azure DevOps とネイティブに統合されているため、開発者はコラボレーション ワークフローと一連の最新の開発サービスを使用して、よりスマートに計画を立て、リリースまでの時間を短縮できるようになります。バグとタスクをコードに関連付けることで、バグ修正がリリースされるタイミングを、Visual Studio 内で把握できます。開発者は、GitHub や Azure DevOps などのオンライン リポジトリからコードをすぐに複製することができます。IDE でリポジトリを作成し、変更やコミットされたコードを通じて Git を管理することができます。

VS Code 用の C# Dev Kit



一部のサブスクリプションには、VS Code 用の C# Dev Kit とコンパニオン拡張機能を使用するライセンスが付属しており、AI を活用したコード補完、ソリューション管理、統合された単体テストの検出と実行など、生産的でカスタマイズ可能な C# 編集エクスペリエンスを VS Code にもたらしめます。



Azure

Azure Dev/Test の個別クレジット



開発者には最大で 150 ドル分の Dev/Test の個別クレジットが提供されます。これを活用して Azure について学び、いろいろと試すことができます。つまり、Azure を使用して、クラウドで仮想マシンの実行、データの保存、サーバーレス アプリの開発を試すことができるということです。クレジット カードは不要であるため、管理者として購買部門に予期しない請求が発生することを心配する必要はありません。Visual Studio のサブスクライバーがクレジットの月額上限に達すると、翌月のクレジットが追加されるまでその Azure サービスは停止します。

クレジット カードを登録することで、支出の上限を取り払うこともできます。

Visual Studio サブスクリプションがアクティブである限り、150 ドルの制限は毎月自動的にリセットされるため、何もしなくてもクレジットが手に入ります。

サブスクライバーの 150 ドルを使用すると Azure でどれくらいのことできるか気になりませんか? Visual Studio サブスクリプション向け Azure の Web ページでは、さまざまなシナリオを紹介しています。各シナリオについて、価格計算ツールによってコストが自動入力されるので、サブスクライバーは自分のクレジットを使用してどれくらいのことできるかを正確に把握することができます。

ご自身で確認するには、Visual Studio サブスクライバー向け Azure の Web ページにアクセスしてください (<https://aka.ms/VSSAzureScenarios>)。いずれかのシナリオの [製品と料金に関する詳細を確認する] をクリックし、下にスクロールして見積もりを確認してください。



Azure Dev/Test の価格



Visual Studio サブスクリイバーには、継続的な開発とテストをサポートするために、Azure の割引料金が適用されます。また、Azure のクレジットをさらに効果的に活用できるように、Azure におけるサブスクリプションソフトウェアのクラウド使用権も付与されます。組織によっては、Dev/Test 価格設定オプションがいくつか設けられています。

Enterprise Dev/Test



どの Visual Studio サブスクリイバーも、Azure サブスクリプションを作成することができます。組織が Azure サブスクリプションでマイクロソフト エンタープライズ契約を結んでいる場合は、Enterprise Dev/Test オファーを通じて、Azure の割引価格が適用されます。このオファーは、Azure 登録ポータルに作成された特定の Azure サブスクリプション タイプで、自動的に Azure 割引料金が適用されます。





開発テスト用の従量課金制プラン



組織が Azure のマイクロソフト エンタープライズ契約を結んでいない場合は、この方法で Azure Dev/Test を割引価格で利用することができます。これは、クレジット カード請求 (または請求書払い) に設定されている Azure アカウントを通じて設定できます。

Enterprise Dev/Test オファーと開発テスト用の従量課金制プラン オファーは、Visual Studio サブスクライバーがいるチームの本番環境以外のニーズを満たすように設計されています。組織は基本的に、Microsoft 製品について Azure の割引を受けます。これらのオファーにより、開発者は事前に構成された仮想マシン (Windows 10 など) を使用して、クラウド内の Dev/Test 環境でチームを迅速に稼働させ、Windows Virtual Machines、Cloud Services、SQL Database、HDInsight、App Service、Logic Apps を低価格で利用することができます。Azure には、分離環境とサブスクリプションに個別の請求とコスト センターを提供したり、使用量に基づいて単純にチャージバックしたりする目的で、ユーザーにコスト配分を提供できるという追加のメリットがあります。詳細については、<https://azure.microsoft.com/pricing/offers/dev-test> をご覧ください。

このオファーは、ソフトウェア開発者に加えて、管理者からエンド ユーザーまで、ソフトウェア ライフサイクルに参与しているすべての人を対象とし、その権利はユーザーが現在利用している Visual Studio サブスクリプションに由来します。オンプレミスの MSDN と同様に、使用権は追加用途やテスト目的のためにエンド ユーザーのほか、追加の Visual Studio サブスクリプションを必要としないユーザーにも拡張されます。組織は実行するすべての VM に対して、それが SQL Server、SharePoint Server、または通常はより高い料金で請求されるその他のソフトウェアを搭載した VM であっても、Linux の料金のみを支払うことになります。独自のカスタム仮想マシン イメージをアップロードしたり、Azure ギャラリーから事前構成済みのイメージを使用したりすることができます。

また、Azure Virtual Desktop を活用して、開発とテストの目的で数百台もの VM を迅速にデプロイして管理することもできます。

オファーの詳細とその設定方法については、<https://aka.ms/devtestPR> にアクセスしてください。



Azure DevOps



Azure DevOps には、チームが作業の計画、コード開発の共同作業、アプリケーションの構築とデプロイを行えるよう、開発者サービスが用意されています。開発者は、クラウドで Azure DevOps Services を使用することも、オンプレミスで Azure DevOps Server を使用することもできます。サブスクリイバーは、プラットフォームを問わず、あらゆるアプリの計画を立て、構築し、リリースすることができます。また、Azure Pipelines、Azure Boards、Azure Repos、Azure Test Plans、Azure Artifacts などの Azure DevOps の各種サービスをすべて使用することができます。

Azure DevOps サービスが開発者にとってどのように役立つのかをご確認ください。

- Azure Repos には、コードのソース管理用に Git リポジトリまたは Team Foundation バージョン管理 (TFVC) が備わっています
- Azure Pipelines には、アプリの継続的インテグレーションと継続的デリバリーをサポートする、ビルドサービスとリリース サービスが備わっています
- Azure Boards には、カンバンとスクラムの手法を使用して、作業、コードの欠陥、問題の計画と追跡をサポートする、一連のアジャイル ツールが備わっています
- Azure Test Plans には、手動/探索的テストや継続的テストなどのアプリをテストするためのツールが備わっています
- チームは Azure Artifacts を使用して、パブリック ソースとプライベート ソースから Maven、npm、NuGet のパッケージを共有し、CI/CD パイプラインにパッケージ共有を統合することができます。



ソフトウェアとダウンロード



Visual Studio サブスクリプションは、Visual Studio スタンドアロン製品とは異なり、Dev/Test 目的で使用できる何千もの Microsoft ソフトウェア ダウンロードにアクセスできます。これにより、膨大な数の既存のソフトウェアに対して、ビルドやコードなどをテストする機会が得られます。

ソフトウェアには、現在と過去のバージョンの Windows オペレーティング システム、Windows Server、Microsoft SQL Server、Azure DevOps Server、R Server、SharePoint、Exchange、Dynamics などのサーバーが含まれます。

利用可能なダウンロードの詳細については、この Excel ファイルをダウンロードしてください。

<https://aka.ms/VSSsoftware>

サービス

開発者が日常業務をこなすのに役立つ、幅広いサービスを利用できます。開発者に Visual Studio サブスクリプションが割り当てられている場合、<https://my.visualstudio.com> からポータルにサインインし、これらのサービスをアクティブにするだけで使用を開始できます。Visual Studio サブスクリプションの特典をアクティブにする方法の詳細については、<https://aka.ms/VSSDocs> をご覧ください。

Microsoft 365 E5 開発者サブスクリプション



Microsoft 365 E5 の開発者サブスクリプションには、開発者がソリューションを構築するために使用できる、1 つの管理者ライセンスと 24 個のユーザー ライセンスが付属します。Visual Studio サブスクライバーは、Microsoft Graph、SharePoint、Teams、Microsoft Entra ID、Excel、Outlook を使用して開発を進めることができます。

また、Microsoft 365 の重要なワークロードと機能への拡張されたアクセスも備わっています。Microsoft 365 E5 サンドボックス サブスクリプションを使用する開発者は、次を活用できます。

- Power BI の高度な分析
- Enterprise Mobility + Security (EMS) によるコンプライアンスと情報の保護
- Microsoft Defender for Office 365
- Microsoft Entra ID による高度な ID とアクセス管理ソリューションの構築



Power BI Pro



開発者は、すべてのデータ（ストリーミング ソースを含む）に接続し、それをさまざまな機能が備わった対話型の視覚表現に変換することができます。同僚とダッシュボードを共有し、共同で作業を進めることで、KPI を簡単に追跡して、データに基づいて意思決定を行うことができます。

Windows 開発者アカウント



Visual Studio サブスクリイバーはこのサービスを使用して、すべての Windows デバイス用の無料および有料のアプリを Microsoft Store に提出することができます。

トレーニング



開発者は、付属のトレーニングを活用してスキルのレベルアップを図り、最新のテクノロジーに常に対応することができます。各種トレーニングは特別なユースケース シナリオに合わせてカスタマイズされており、Visual Studio サブスクライバーが開発プロジェクトを次のレベルに引き上げるのに役立つスキルを習得できるように設計されています。

Visual Studio サブスクリプション ポータル (<https://my.visualstudio.com>) にアクセスし、お使いのサブスクリプション レベルに付属するトレーニング特典をアクティブにすることで、すぐにコースの受講を開始することができます。

QA 企業の Cloud Academy



Visual Studio サブスクライバーは、優れた学習プラットフォームである Cloud Academy に 12 か月間アクセスできます。Cloud Academy には、AI、機械学習、Azure、C#、他の Microsoft テクノロジーのスキルを習得して応用するのに役立つレッスン、ハンズオンラボ、試験、認定試験準備コースが用意されています。サブスクライバーは、AI を活用した学習アシスタントと、QA コンテンツでトレーニングされたチューターも利用することができます。



CODE Magazine



一部のサブスクリプションでは、あらゆるプラットフォームの開発技術を扱ったソフトウェア開発者向けの一流独立系雑誌に無料でアクセスできます。

DataCamp



DataCamp は、企業や個人の学習者がデータをより有効に活用するのに役立ちます。サブスクライバーは、世界トップのデータサイエンティストから学びつつ、オンラインでデータの扱いに磨きをかけることができます。

LinkedIn Premium と LinkedIn Learning



一部のサブスクリプションレベルでは、ビジネステクノロジーとクリエイティブトレーニングを活用して開発者がキャリアを前進させるのに必要な人材、インサイト、スキルにアクセスし、LinkedIn のパワーを活用することができます。

Pluralsight



Pluralsight のカタログに掲載されているコースを受講して、サブスクライバーのスキルをレベルアップさせましょう。専門家が作成したコースや学習パスを入手し、適応スキルの測定などを行うことができます。

サブスクリプションの内容



トレーニング割引

Dometrain



サブスクリイバーは、1年間の Dometrain コースとワークショップへのアクセスを 50% 割引でアクティブ化し、.NET、C#、Azure、AI、キャリア管理のスキルを高めることができます。

Tim Corey 氏によるトレーニング



サブスクリイバーは、Tim Corey 氏によるトレーニングも 1年間 50% 割引で受講することができます。実際のトレーニング コースのライブラリにストリーミングでアクセスしたり、ダッシュボードを使って座席の管理やチームの進捗状況の追跡を行ったりすることができます。

Visual Studio Live! イベント



人気の Visual Studio Live! イベントの特別サブスクリイバー割引をご利用いただけます。このイベントでは、開発者、アーキテクト、エンジニアが直接または仮想ハンズオン セミナーを通じて、仲間と一緒に高度なトレーニングを受けたり、人脈づくりや交流を楽しんだりすることができます。

サポート

経験豊富な開発者でも、ヘルプやサポートを必要とします。開発において困難な状況に直面したときにサブスクリバラーを手助けする、いくつかのサポート オプションが用意されています。

テクニカル サポート



お使いの Visual Studio サブスクリプションに応じて、最大で 4 つの Microsoft テクニカル サポート インシデントがもらえます。非運用環境で発生した問題の解決をサポートします。

コンシェルジュ チャット – 24/7 サポート



技術文書や製品情報の検索、サブスクリプションの特典利用について、チャットでサポートを受けることができます。

他の Visual Studio サブスクリプション レベルに付属する特典との比較については、特典について説明しているページ (<https://aka.ms/VSSBenefits>) をご覧ください。

管理者のベスト プラクティス

以下に、皆さんと組織が成功を収めるための推奨事項をいくつか紹介します。

- 管理者としての皆さんの役割に影響を及ぼす新機能や変更のタイミングを把握できるように、Visual Studio サブスクリプションの管理者向けニュースレターを受け取るように設定しましょう。
<https://aka.ms/VSSAdminProfile> で基本設定と割り当ての設定を管理し、Visual Studio サブスクリプションのチェック ボックスをオンにしてください。
- スーパー管理者の場合は、組織に複数のスーパー管理者を確保しましょう。こうすることで、1 人のスーパー管理者がオフィスを離れている際にも、管理者やサブスクリイバーを追加する役割を補佐する人員を確保できます。スーパー管理者は管理者とサブスクリプションを管理できますが、管理者が管理できるのはサブスクリプションのみです。
- サブスクリイバーに Visual Studio サブスクリプションに付属する特典をアクティブにし、有効活用するよう勧めましょう。製品や特典に関する更新情報を入手できるように、サブスクリイバー向けニュースレターを受け取るように設定してもらいましょう。
- Visual Studio Subscriptions の管理者向け Web ページと、Visual Studio Subscriptions 管理ポータルを定期的にチェックして、変更点やニュースを見逃さないようにしましょう。





必要な作業
を行うのに
役立つサ
ポート ツー
ルが 1 つに

便利なリンク

管理者向け:

- Visual Studio Subscriptions 管理者向け Web ページ: <https://aka.ms/VSSAdmin>
このページでは、サブスクリプションを割り当てる理由、サブスクリプションを割り当てる方法について説明するビデオ、さまざまな質問に回答する詳細な FAQ セクションのほか、更新情報を確認できます。
- Visual Studio Subscriptions 管理者ポータル: <https://manage.visualstudio.com>
このリンクから直接サインインして、サブスクリプションを管理することができます。
- Visual Studio サブスクリプション管理者向けのハウツー ビデオのプレイリスト:
<https://aka.ms/VSSAdminVideos>
- Visual Studio サブスクリプション管理者向けのハウツー ドキュメント:
<https://aka.ms/VSSAdminDocs>
- Visual Studio サブスクリプション管理者向けサポート: <https://aka.ms/VSSAdminSupport>





サブスクライバー向け:

- Visual Studio サブスクライバー ポータル: <https://my.visualstudio.com>
サブスクライバーはこのリンクから直接サブスクリプションにサインインすることができます。
- Visual Studio サブスクライバー向け Azure: <https://aka.ms/AzureForVSS>
Visual Studio サブスクライバーに Azure Dev/Test の個別クレジットの使用を勧め、その使い道と価格設定を紹介することで、手持ちのクレジットでどれだけのことができるかを確認できるようになっています。

サブスクリプションについて:

- Visual Studio サブスクリプション: <https://aka.ms/VSSubs>
Visual Studio サブスクリプション全般の概要ページです。
- Visual Studio のライセンスと用途: <https://aka.ms/VSLicensing>
この pdf では、Visual Studio サブスクリプションのライセンスの使用権を付与する方法とさまざまなシナリオを紹介しています。
- Visual Studio サブスクリプションの特典比較ページ: <https://aka.ms/VSSBenefits>
このページで Visual Studio サブスクリプションを選択して、そのサブスクリプションに付属する特典と、簡単な説明を確認することができます。
- Visual Studio サブスクリプションの価格ページ: <https://aka.ms/VSSPricing>
すべての Visual Studio サブスクリプションを比較し、価格情報を確認することができます。

